

# つなげよう つながろう ふたばのわ

表紙は町立小・中学校大凧作り



- ▶ コロナもオニも外! 福は内!! みんなで豆まき (P2)
- ▶ 大凧・キャンドルホルダー作り~みんなの夢をのせて~ (P3)
- ▶ VOICE for FUTABA (P4)
- ▶ ~婦人学級活動レポート~ はなみずき婦人学級フラワーアレンジメント (P5)
- ▶ スマイルフォト・町からのお知らせ (P6) ▶ 中野地区復興産業拠点 立地企業の紹介 (P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・今月のオフショット (P8)

■発行: 双葉町秘書広報課 (☎0246-84-5202) ■企画・編集: 双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ

f 町公式フェイスブックページ ▼  
<http://facebook.com/fukushima.futaba>

町公式ブログ ▼  
<https://futabanowa.wordpress.com>





# ふたば幼稚園

節分という行事の由来や意味を、紙芝居を使って先生から教えてもらった園児の皆さん。その内容から出題されたクイズについてみんなで考えながら回答しました。クイズも終わり、年少組と年中組が話し合っているとオニに扮した年長組と先生が登場しました。少し怖がりながらも、みんなで協力して無事オニ退治に成功しました!



みんなで豆入れ袋を作ったよ!

# みんな で 豆まき

コロナもオニも外! 福は内!!

2月3日、いわき市にあるふたば幼稚園と双葉南・北小学校で豆まきが行われ、新型コロナウイルス退散や1年の健康を願って「オニは外! 福は内!」と大きな声で元氣よく豆が投げられました。



オニだぞー!!



きゃー!!  
オニは外!!

# 双葉南・北小学校

双葉南・北小学校ではオンラインで節分についてのクイズを楽しんだ後、今年の年男、年女である5年生が各学年の教室へオニ退治に向かいました!

今年の年男・年女は5年生!



○か×か?



福は内!



5・4・3・2・1...  
正解は...!



オニは外!

## 5年生が退治したいオニ

- うるさいオニ
- ときどき忘れ物をするオニ
- ゲームやりすぎオニ
- いやな音を出すオニ
- 気持ちを正直に言えないオニ
- すぐにおこるオニ



# 大凧・キャンドルホルダー作り ～みんなの夢をのせて～

2月8日、双葉南・北小学校と双葉中学校で「LOVE FOR NIPPON」(ラブフォーニッポン)が主催する3月11日に向けた企画の一環としてキャンドルホルダーと大凧作りが行われました。「LOVE FOR NIPPON」とは東日本大震災の復興支援のために立ち上がり、災害時における緊急支援とその後の継続的な支援等を行うために設立された、キャンドル・ジュンさんが代表を務める法人です。キャンドルホルダーにはそれぞれの夢やイラスト

を描き、一人ずつ自分の夢をオンライン画面を通してキャンドル・ジュンさんへ向けて元気よく発表しました。

その後、小学生の皆さんは手のひらを様々な色の絵の具で塗って大凧に手形を押し、中学生の皆さんは夢やイラストを大凧に描く制作を行いました。初めて聞く友だちの夢も多かったようで、「なんでそれになりたいの?」「どういうことをするお仕事なの?」とお互いに興味津々な様子でした。

なるほど!



どんな思いを  
込めようかな

オンラインで  
企画の概要や  
作り方を  
学びます

キャンドルホルダー  
に自分の夢を描き、  
発表します

僕の夢は…



私の夢は…



ペタペタ  
楽しい!

大凧をみんな  
で作っていきます



大きく描くの  
って意外と  
難しいね





対話で育む  
心の復興プロジェクト

# VOICE for FUTABA

VOICE for FUTABAのこれまでの活動は  
QRコードを読み取ってご覧ください



2月20日、トークイベント「対話で育む心の復興プロジェクトVOICE for FUTABA」がオンラインで開催されました。このプロジェクトは、以前JRR双葉駅前で「JOE'S MAN」を営んでいた高崎丈さんの【双葉町のこれからを考える中で、町民が自分の思いを発信できる場を設けたい】という考えをもとに立ち上げられたものです。

このイベントが開催されるまでにあらゆる年代や性別、立場の違う町民の皆さんと計4回のグループトークセッションを行ってきた高崎さん。今回は今年度の活動の集大成として、会場に集まったこれまでのトークセッションの参加者とオンラインからの参加者が、今までの双葉町への思いやこれからどうなっていくってほしいか、自分は町とどう関わっていきたいかなど活発な意見の交換を行いました。



高崎 丈さん

活動のきっかけは、2020年から始まった双葉町内に壁画を描くというプロジェクト「FUTABA Art District(フタバアート・ディストリクト)」に携わらせていただいたことでした。ずっと時が止まったままだった町の中が少しずつ動き出したのを感じ、この流れを止めてはいけないなと思いました。役場職員の皆さんが、帰町へ向けて大忙しで走り回っている今、民間が主となり、少しでもサポートできるプレーヤーがいてもいいのではないかなと思います、周囲の方々の協力を得て、今に至ります。この活動を通して町民の皆さんと話をする、震災から10年が経ち、離れ離れで暮らす時間が長くなってしまった分、考え方や町への思いなどは多岐にわたるといったことがわかりました。

私はこのあらゆる意見を一つにまとめたいと思っているわけではありません。どのような意見でも自由に発言できる場を設け、町民の方々に自分の意見を発信してもらったことが必要だと感じています。そのためにも、まずはこの活動を継続的に行っていききたいと考えています。参加しやすい、意見を発しやすい環境を整備して、これから大きく変化していく双葉町に町民の心が置いてきぼりにされないような支援ができれば嬉しいです。

これからの双葉町には、かつての町民だけではなく、新しく双葉町にやってくる人や企業の力が必ず必要です。だからこそ、かつての町民の声をしっかり発信してもらい、町民の思いと新しくやってきた人々の思いがうまく融合した良い町になるといいなと思います。

## イベントで聞こえた町民の声

双葉町に  
家族みんなで戻りたい



双葉町は  
人と人との  
繋がりが強い町



私達が知っている  
双葉町とは違う町に  
なってしまうのでは  
ないか…という不安



双葉町に新たな  
観光資源を作ること  
はできないか



※写真はVOICE for FUTABA主催の  
KIBITAKIプロジェクト様よりご提供いただきました





～婦人学級活動レポート～

# はなみずき婦人学級 フラワーアレンジメント



12月23日、はなみずき婦人学級が埼玉県加須市にある町民交流施設ふたば交流広場でフラワーアレンジメント教室を開催しました。昨年はフラワーアレンジメント制作キットを使ってお手本を見ながら制作をしていましたが、今年はフラワーアレンジメントの講師をお呼びしました。

フラワーアレンジメント教室は、講師の方からの花の名前や特性、どのように切れば花が長持ちするのかなど丁寧な解説を交えながら進みました。婦人学級の皆さんは講師の方の話を真剣に聞きつつ、「花をどのくらいの長さで切ったら良いのかしら」、「どこに花を刺したらキレイに見えるか難しいねえ」などお互いに相談して、それでも分からないところは講師の方に積極的に質問しながらフラワーアレンジメントを制作しました。

制作に使った花は皆さん同じですが、どれも一つ同じものが無い、個性豊かな美しいフラワーアレンジメントを完成させていました。婦人学級の皆さんは、それぞれの完成したフラワーアレンジメントを眺めながら、「やっぱり講師の人がいるとぜんぜん違うね。今まで自己流でやってきたから。それも楽しかったけど、切り方とか刺し方とかを教えてもらったら出来が全然違う！今まで一番納得できる出来になった！」と満足そうに語り合っていました。





# ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



12月23日(木)  
はなみずき婦人学級フラワーアレンジメント教室(加須市)



2月8日(火)  
双葉中学校  
キャンドルホルダー・大凧作り  
(いわき市)

## 町からのお知らせ

お知らせ

### 準備宿泊受付コールセンターでの受付休止について

準備宿泊受付コールセンターについては、「令和4年4月1日から4月3日まで」受付をお休みさせていただきます。

この期間に準備宿泊を予定されている方は、3月31日までにコールセンターへ届出をしてください。皆さまには、大変ご不便をおかけいたしますが、あらかじめご承知おきいただきますようお願いいたします。

なお、令和4年3月31日および4月4日以降は通常通り受付いたします。

#### 準備宿泊受付コールセンター

☎0120-357-133(フリーダイヤル)

受付時間 平日 ▶ 午前8時～午後8時 土日、祝日 ▶ 午前8時～午後5時

今月の情報掲示板はお休みします



## 今月の紹介企業①

## 株式会社双新電子

株式会社双新電子は、1981年に双葉町で設立し、電子機器製造を生業としてきた企業です。1995年からはモータースポーツ、コンセプトカーをはじめとした高度な自動車技術設計においても、数多くの成果を残してまいりました。また2009年より本格的にEV(電動車両)開発事業、小型EVモビリティ事業に参入し、EV黎明期から実績を積み重ねてまいりました。急速に社会のEVニーズが高まってきている気運もあり、双葉町に新拠点を設置する運びとなりました。

また、環境省ローカルSDGs(地域循環共生圏)登録企業として国連の持続可能な開発目標SDGsの実現、啓蒙に注力しています。地域のすべての人々、生き物が共生し、中長期にわたり継続できるゆとりのある優しい交通、移動環境社会の実現に尽力いたします。



## 代表取締役 笹田 淳さんの声



双葉町の産業を盛り上げたいという思いで立地を決めました。町の今後の発展のためには、先端産業が盛んになり、注目されることが重要だと考えています。私たちの企業は、次世代モビリティを発展させるとともに、培ってきた技術を活用して町における交通インフラの利便性を高めていきたいと考えています。双葉町での取り組みがいつか大きな自治体や企業の目を引き、町のPRに繋がればという思いです。

また技術産業の領域に限らずですが、未来を見ている若者たちが、東京や海外のみに目を向けるのではなく、そこに東北という選択肢が入ってきてほしいと考えています。そんな希望を持つ人たちが育っていく土壌として貢献できれば、嬉しい限りです。

## 今月の紹介企業②

## 株式会社アルメディア

株式会社アルメディアは、1981年に創業し、テストメディア(DVD・CDなど)製造を中心に事業を展開してきました。社名である「アルメディア」は英語でいうところの「The Media」を意味するスペイン語に由来した造語で、「メディアを通じて社会に貢献する」ということを意味しています。現在は事業ポートフォリオの最適化を図り、事業構造の転換を進めています。

双葉町では、2019年4月より事業化したナノマテリアル事業の推進を目的に、カーボンナノファイバー量産工場の整備を計画しています。本工場は現在着工中で、2022年の稼働開始を予定しています。福島県内での雇用など、地域の活性化や復興に貢献するとともに、事業の発展に努めてまいります。



福島双葉工場 完成予想図

## 福島双葉工場開設準備室室長 中山 守さんの声



先述のとおりメディア分野を基軸としていましたが、数年前より機能性材料メーカーへの転換を図ることを目標とし、新たな事業の立上げを目指していました。ちょうどその頃、双葉町とのご縁があり、新規事業を進めていく上で、工場が必要であったこと、双葉町の情熱の輪に加わりたいという思いが重なり、双葉町に立地することを決めました。

双葉町に初めて来たのは震災後でしたが、町の方々の熱意に非常に強く引き寄せられました。町の復興、そしてさらなる飛躍のため、我々も積極的に協力していきたいと考えています。当社の事業は消費者との接点が比較的小さいものではありませんが、そんな中でも町民の方々に知ってもらえるような企業にしていきたいと思っています。

※撮影時のみマスクを外していただいております。



# 放射線モニタリング情報

## 福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

令和4年2月25日

- ①郡山市 日和田応急仮設住宅 …… 0.11~0.23
- ②福島市 県北保健福祉事務所 …… 0.10
- ③郡山市 県郡山合同庁舎 …… 0.07
- ④白河市 県白河合同庁舎 …… 0.06
- ⑤会津若松市 県会津若松合同庁舎 0.05
- ⑥南会津町 県南会津合同庁舎 …… 0.02
- ⑦南相馬市 県南相馬合同庁舎 …… 0.06
- ⑧いわき市 県いわき合同庁舎 …… 0.05



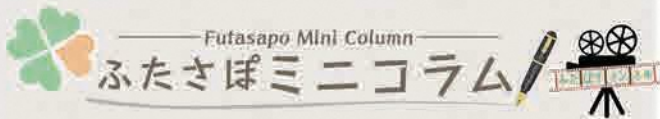
## 双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$ )

全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧いただけます。  
<https://www.irms.nsr.go.jp/nra-ramis-web/g/>

地区	地点	平成24年 4月1日	令和4年 2月25日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.39
新山	新山公民館	—	0.15
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.18
新山	双葉南小学校	—	0.16
新山	双葉中学校	—	0.16
新山	県立双葉高等学校	—	0.18
新山	中央公園	—	0.18
新山	高万迫	—	0.67
下条	双葉総合公園	2.60	0.53
下条	双葉町役場	—	0.18
郡山	郡山公民館	1.48	0.29
細谷	双葉町仮設処理第一施設北側	—	調整中
細谷	消防屯所前	—	調整中
細谷	細谷公民館	—	0.28
三字	三字公民館	2.53	0.13
山田	山田農村広場	24.47	2.98
石熊	石熊公民館	12.10	1.39

地区	地点	平成24年 4月1日	令和4年 2月25日
長塚	双葉町体育館	6.25	0.42
長塚	長塚二公民館	3.26	0.19
長塚	双葉町青年婦人会館	—	1.15
長塚	町西住宅	—	0.14
長塚	JA ふたば北部営農センター	—	0.95
長塚	双葉北小学校	—	0.30
長塚	ふたば幼稚園	—	0.98
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.27
長塚	双葉町児童館	—	0.18
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.28
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.32
寺松	寺松公民館	3.46	0.70
渋川	渋川公民館	1.48	0.31
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	0.50
中田	中田公民館	0.77	0.14
両竹	両竹公民館	0.54	0.07
浜野	双葉町産業交流センター	—	0.04

※中田公民館(中田地区)については、測定機器の故障等により一時的に掲載を停止しておりましたが、測定機器の復旧に伴い今号より再掲載しております。原子力規制委員会ホームページより



段々と日が延び、春の訪れを感じる季節になりました。皆さんお元気でしょうか？

以前、このコラムで趣味はスノーボード!!と宣言しておりましたが、先日遂に念願のスノーボードに行ってまいりました。出身地の中部地方ではなかなか体験できないふかふかの雪と猪苗代の素晴らしい景色を見られて最高の1日でした!!

ただ…、問題は翌日です。恐れていた筋肉痛が予想をはるかに上回るレベルで襲ってきました。やはり十分な準備運動が必要だと切実に感じました。皆さんも運動をするときは準備運動等で体を十分にほぐしてから行うことをオススメします。笑  
 木幡 友紀恵

### 今月のオフショット

寒いと思ったら…



撮影のため町内に向かうと  
 大きな「氷柱」が!  
 つい写真を撮ってしまいました。

